

案内

平成 30 年度 東京医療保健大学大学院 公開講座

テーマ：これからの在宅医療・介護—地域
の元気をつくる

日時：7月21日(土) 12:30～16:45(受
付 12:00～)

会場：東京大学弥生講堂・一条ホール
(東京都文京区)

プログラム(予定)：教育講演1「生涯を
通じて住民に伴走する地域看護を目指し
て—ビュートゾルフ柏の実践」吉江 悟
(Neighborhood Care 代表理事)／2「地
域高齢者の体力測定を通じた介護予防と
健康支援の取組み」今泉一哉(東京医療保
健大学教授)／研究発表1「外来がん化学
療法の現状と副作用としての味覚障害の
研究」中濱孝志(東京医療保健大学大学院
修士課程修了生)、大木直子(同)／2「在
宅での看取りのための地域連携—病院か
ら訪問看護ステーションへ向いて行う
事例検討会」大金ひろみ(東京医療保健大
学准教授)／3「在宅における感染制御の
実情」西川美由紀(東京医療保健大学大
学院博士課程1年)／4「産後ケア研究セン
ター開設にあたって」島田祥子(東京医療
保健大学講師)／特別講演「AIで介護革
命? 人工知能とケアマネジャーによる
ハイブリッド型ケアマネジメントの発
明」岡本茂雄(シーディーアイ(ケアデザ
イン研究所)CEO)

参加費：1000 円

申込方法：下記大学ホームページより参
加申込書をダウンロードし、必要事項を
記入して E-mail または FAX にて大学
院事務室まで送信。

※ E-mail の件名は「大学院公開講座参
加申込み」とし、参加申込書はファイル
添付する

問い合わせ先：東京医療保健大学医療保
健学研究科大学院事務室

TEL:03-5421-7685

FAX:03-5421-3133

E-mail:info-master@thcu.ac.jp

http://www.thcu.ac.jp

案内

日本訪問看護財団研修

■小児訪問看護の実践力向上のための研

修 2018 (3 日間研修)

日時：9月7日(金)～9日(日)

会場：ラマダホテル新潟(新潟市中央区)
ねらい：小児入院患者の在宅移行の促進

と、地域での生活を支援するために、小
児及びその家族の支援に必要な知識・技
術を習得し、保健・医療・福祉・教育等
の社会資源が活用できる

内容：障害保健福祉施策の動向と制度活
用／小児と家族への退院支援／小児の発
達・成長／各ライフステージに応じた小
児と家族支援／小児訪問看護の実際／小
児在宅医療の現状／小児の呼吸管理／小
児のフィジカルアセスメント／小児在宅
医療の人工呼吸器について・演習／小児
救命処置・演習(シミュレータ使用)／気
管カニューレ管理・経鼻栄養管理・吸引
等の演習(シミュレータ使用)／修了者報
告会

講師：大西延英(元厚生労働省社会・援
護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・
発達障害者支援室室長補佐)／石渡久子
(子ども在宅クリニックおおぞら診療所
墨田、医師)／豊田ゆかり(愛媛県立医療
技術大学保健科学部看護科母性・小児看
護学講座教授)／岡田たみえ(東京都立大
塚病院 GCU 病棟看護師長)／内田貴之
(杏林大学医学部付属病院医療安全推進
室専任リスクマネージャー、小児救急看
護認定看護師)／松井晃(母子愛育会総合
母子保健センター愛育病院臨床工学科臨
床工学技士長)／田中道子(財団立あすか
山訪問看護ステーション所長、訪問看護
認定看護師)／田中由美(同訪問看護師)
／新村恵子(同訪問看護師)

対象：小児訪問看護に従事する看護師
(医療技術の演習を含む研修のため、小
児訪問看護に従事する保健師・助産師・
看護師・准看護師)

受講料：一律 2 万円

■集中セミナー

日時：11月10日(土)

会場：ベルサール新宿グラウンド(東京都
新宿区)①ホール、②③コンファレンス
センター

プログラム：①～③同時開催。いずれか
1つを選択

①「在宅療養支援のための臨床推論」(認
定看護師のフォローアップセミナー)

※認定資格更新セミナー

ねらい：在宅療養者のアセスメントに臨
床推論を用いて、状態悪化防止、異常の

早期発見等につなげるための知識を学ぶ
内容：在宅療養者におこりやすい症状と
臨床推論／事例をもとに臨床推論の実際
を学ぶ。

講師：徳田安春(群星沖縄臨床研修セン
ター長、総合診療医)／島田珠美(川崎大
師訪問看護ステーション統括所長、診療
看護師)

対象：認定看護師(全 21 分野)および訪
問看護に従事する看護職員など

②非がん療養者のエンドオブライフケア

ねらい：非がん療養者のエンドオブライ
フケアの特徴を理解する／エンドオブラ
イフケアにおける倫理的問題について理
解し、看護倫理に基づくケアの実践につ
いて学ぶ

内容：非がん療養者のエンドオブライフ
ケア総論／非がん疾患の予後予測と意思
決定支援／コミュニケーションと意思決
定における看護師の役割

講師：平原佐斗司(東京ふれあい医療生
活協同組合オレンジほっとクリニック院
長)／千葉恵子(亀田総合病院緩和ケア専
従、緩和ケア認定看護師)

対象：訪問看護に従事する看護職員など

③看護職起業家交流セミナー

ねらい：平成 30 年度報酬改定後の訪問
看護ステーション経営の展開・安定経営
を目指すための方策を学ぶ

内容：訪問看護関連の最新情報／小規
模・大規模訪問看護ステーションの経営
戦略／意見交換

講師：交渉中

対象：訪問看護ステーションの経営関係
者・訪問看護ステーションの起業をめざ
す人など

受講料：会員 6000 円、非会員 1 万円

申込：8月1日(水) 10 時開始

【以下、共通】

申込方法：下記ホームページの申込
フォームより

※インターネット環境のない人のみ
FAX 可。研修担当に電話すること

問い合わせ先：訪問看護財団研修担当
TEL:03-5778-7005

E-mail:info-kensyu@jvnfor.jp

http://www.jvnfor.jp/kyouiku/kensyu.
html

案内

大分県立看護科学大学 創立 20 周年記念 第 20 回看護国際フォーラム

テーマ：看護におけるリーダーシップ
日時：9 月 15 日(土) 13:30 ～ 16:30
会場：別府ビーコンプラザ国際会議室
(大分県別府市)
プログラム：「社会に新風を吹きこむ看護のリーダーシップ—大分県立看護科学大学の活動から」村嶋幸代(大分県立看護科学大学理事長、学長)／「脳卒中後の感情障害—根拠に基づく看護研究」スミ・チョイ・クワン(ソウル国立大学看護科学大学成人看護学専攻教授・学部長)／「看護におけるリーダーシップの進路—効果的なメンタリング関係を通じた臨床学の発展」ジェイムセッタ・A・ニューランド(ニューヨーク大学看護学臨床教授、同大学ヘルスケアクリニックナースプラクティショナー)／総合討論：藤内美保(大分県立看護科学大学看護アセスメント学研究室教授、学部長)、竹中愛子(大分県看護協会会長)
参加費：一般 2000 円、学生 500 円(資料代等)
※同時通訳用レシーバ使用の場合、別途 1000 円。当日、受付で支払う。おつりのないように。
定員：350 名
申込方法：大分県立看護科学大学ホームページ(<http://www.oita-nhs.ac.jp>)の参加登録フォームより。必要事項を入力の上、申し込む
申込締切：8 月 17 日(金)(定員に達し次第締切)
問い合わせ先：大分県立看護科学大学看護国際フォーラム事務局
E-mail: forum2018@oita-nhs.ac.jp
〒 870-1201 大分県市宇廻野 2944-9

案内

第 14 回 日本乳がん看護研究会

テーマ：乳がん患者の地域連携を考える—今、求められていること
日時：10 月 6 日(土) 9:55 ～ 16:30
会場：KFC ホール(東京都墨田区)
プログラム：教育講演 1「地域で取り組む緩和ケア—がんになっても安心して暮

らせる街をめざして」星野彰(岩手県立中部病院地域医療科長兼地域医療福祉連携室長兼緩和医療科長)／教育講演 2「その人らしい暮らしを支える」平原優美(あすか山訪問看護ステーション、在宅看護専門看護師・訪問看護認定看護師)／指定演題「地域連携・在宅療養支援」／ケースカンファレンス 1「周産期・育児期の乳がん患者への看護支援」／2「在宅で過ごす終末期乳がん患者への支援」／ミニセミナー
参加費：事前参加登録(9 月 15 日まで) 会員 4000 円、非会員 5000 円。当日参加登録会員 5000 円、非会員 6000 円
定員：300 名
参加登録方法：下記研究会ホームページ参照
問い合わせ先：千葉大学大学院看護学研究科成人看護学領域内
〒 260-8672 千葉市中央区玄鼻 1-8-1
E-mail: info@jabcn.jp
URL: <http://www.jabcn.jp>

案内

第 28 回日本保健科学学会

日時：10 月 6 日(土)
会場：首都大学東京荒川キャンパス(東京都荒川区)
テーマ：専門職のキャリアアップ
プログラム：シンポジウム／学会賞受賞講演／教育講演(共催：健康福祉学部看護学科)／一般演題／交流集会／都民公開講座
参加費：会員 3000 円、非会員 4000 円、学部生・専門学校生(学生証提示)無料
※筆頭演者は会員 3000 円、非会員(当日会員扱い) 5000 円
【演題・交流集会企画募集】
募集締切：7 月 31 日(火) 17 時厳守
※詳細は下記ホームページ参照
問い合わせ先：首都大学東京健康福祉学部看護学科内実行委員会
〒 116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10
TEL: 03-3819-1211 (代)
E-mail: th28nhs@tmu.ac.jp
<http://www.health-sciences.jp/meeting/>

案内

第 15 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

テーマ：いま、あらためて「寄り添う」を考える
日時：10 月 27 日(土)～ 28 日(日)
会場：神戸女子大学ポートアイランドキャンパス(神戸市中央区)
プログラム：
[10 月 27 日]
会長講演「『寄り添う』ということ(仮)」玉木敦子(神戸女子大学看護学部教授)／シンポジウム①「妊産婦や家族の思い—周産期メンタルヘルスに求められているもの」／基調講演「日本周産期メンタルヘルス学会の 15 年をふりかえって(仮)」岡野禎治(日本周産期メンタルヘルス学会理事長)／シンポジウム②「妊産婦のこころを支える—さまざまな場と専門職の役割」
[10 月 28 日]
シンポジウム③「今あらためて注目したい—明日の周産期メンタルヘルス治療のために」／特別講演「妊産婦の自殺の実態とメンタルヘルスの重要性(仮)」竹田省(順天堂大学医学部産婦人科特任教授)／ポスターセッション／特別企画「流産・死産を経験した女性と家族の体験、ピアサポート」
参加費：会員 5000 円、非会員 6000 円、学生 1000 円(要学生証提示)
※詳細は下記ホームページ参照
問い合わせ先：三重大学保健管理センター内学会事務局安川通子
〒 514-8507 津市栗真町屋町 1577
TEL: 080-3622-8911
FAX: 059-231-9049
E-mail: mental-3@hac.mie-u.ac.jp
URL: <http://pmh.jp/index.html>